



東側山々の眺望を大前提の設計。ロケーションに埋もれてしまぬよう大屋根とし、存在感を出しつつ内包される外観で表現。外形は各所凹みを設け、そこにテラスや庭を配置。裏表を無くすことで90度から外部環境を取り込み、田舎ならではの自然と共生する住まいを目指した。

内部はアトリエを中心に東にLDK、西に水回りと居室を配置し、パブリックとプライベートな空間を明確に分離。アトリエは革工房のほか、裁縫やワークスペース、時には子供の作業や将来の勉強スペースなど多様なシーンを想定。アトリエを家の核としてコミュニケーションを誘発し、子供達にも「つくる」ことへの楽しさを身近に触れられる機会を期待。東側の窓からは山並みを一望できるため開口率を多めに設計。初めて現調へ来た際にここに大きなテラスを配置し、第二のダイニングとして食事を楽しむと確約。

北面は接道による視線が気になるため、窓は最小限にしつつも完全に閉ざしてしまわず閉塞感を与えかねないため、くぼみを設け植栽を配置。また内部からはアトリエ、キッチン、浴室の中庭として柔らかな光を取り込んでいる。

**仕様**  
 屋根 | ガルバリウム鋼板 横葺  
 外壁 | そとん壁 (高千穂シラス)  
 床材 | 日光杉 t20  
 内壁 | フェザーフィール (漆喰)

**性能表示**  
 基礎 | ポリスチレンフォーム断熱材 2種 t60  
 壁 | 高性能グラスウール /105mm/16kg/m<sup>3</sup>  
 天井 | セルローズファイバー /250mm/25kg/m<sup>3</sup>  
 開口 | LIXIL サーマス X (一部木製造作)  
 空調 | 床下エアコン×ルームエアコン (壁掛型)  
 換気 | 第3種